CLAUDE COMMUNITY TOKYO

ハッカソンのアイデアの作り方

「もうある」は、やめる理由ではなく出発点だ

2026 年 11 月 6 日　岡本 賢

要点

- アイデアは、すでにある要素の新しい組み合わせです。ひらめきを待つより、材料を集めて関係を探すほうが確実に進みます。
- 机の上で考えた案は似たところに集まりやすく、最近の自分の「面倒」から始めた案は重なりにくくなります。
- 似たものが見つかっても、手遅れとは限りません。それが広がっていない理由が、あなたの案の中身になります。
- 当日のひらめきは、前の週に集めて寝かせた材料から生まれます。最後は 3 行で書き、埋まらない空欄を詰めます。

八つの原則

1. **アイデアは、組み合わせでできている。**　ジェームス・W・ヤングは、アイデアをすでにある要素の新しい組み合わせだと説明しました。
2. **考え出すより、気づく。**　ポール・グレアムは、案を考え出すのではなく、自分が抱えている問題に気づくよう勧めています。
3. **差がつくのは、現場の材料。**　AI の使い方は会場の誰もが持っています。差がつくのは、自分にしかない現場の面倒です。
4. **似たものが見つかっても、やめない。**　グレアムは、同じことに取り組む人が見つかっても、たぶん手遅れではないと書いています。
5. **昔の失敗を、今の AI で見直す。**　当時はできなかったことでも、今の AI ならできることがあります。ここは本資料の解釈です。
6. **広く浅くより、狭く深く。**　多くの人が少しだけ欲しいものより、少数の人がとても欲しいものを選びます。
7. **ひらめきは、寝かせた後に来る。**　前の週に集め、前の晩は寝て、当日は 30 秒で人に話します。
8. **最後に、3 行で書く。**　埋まらない空欄が、次に調べる場所です。

> The verb you want to be using with respect to startup ideas is not “think up” but “notice.”
>
> 訳：スタートアップのアイデアに使いたい動詞は、「考え出す」ではなく「気づく」です。
>
> Paul Graham「How to Get Startup Ideas」（2012）

3 行の型

_____（具体的な 1 人）は、_____（場面）で、_____に困っている。

似たものに_____があるが、_____だから広がっていない。

今は AI で_____ができるようになったので、_____を作る。

出典

Graham, Paul. 2012. “How to Get Startup Ideas.” https://paulgraham.com/startupideas.html

Young, James Webb. 1940. A Technique for Producing Ideas. 邦訳『アイデアのつくり方』（1988）。引用と 5 段階の要約は Farnam Street の掲載で確認。https://fs.blog/a-technique-for-producing-ideas/

この資料について
詳しい版は「ハッカソンのアイデアの作り方」（11 ページ）にあります。英語の引用は原文または掲載元で文言を確かめ、訳は本資料によるものです。